

令和3年 RAIMS活動報告会

－ モニタリングシステムを活用した土木構造物の維持管理 －

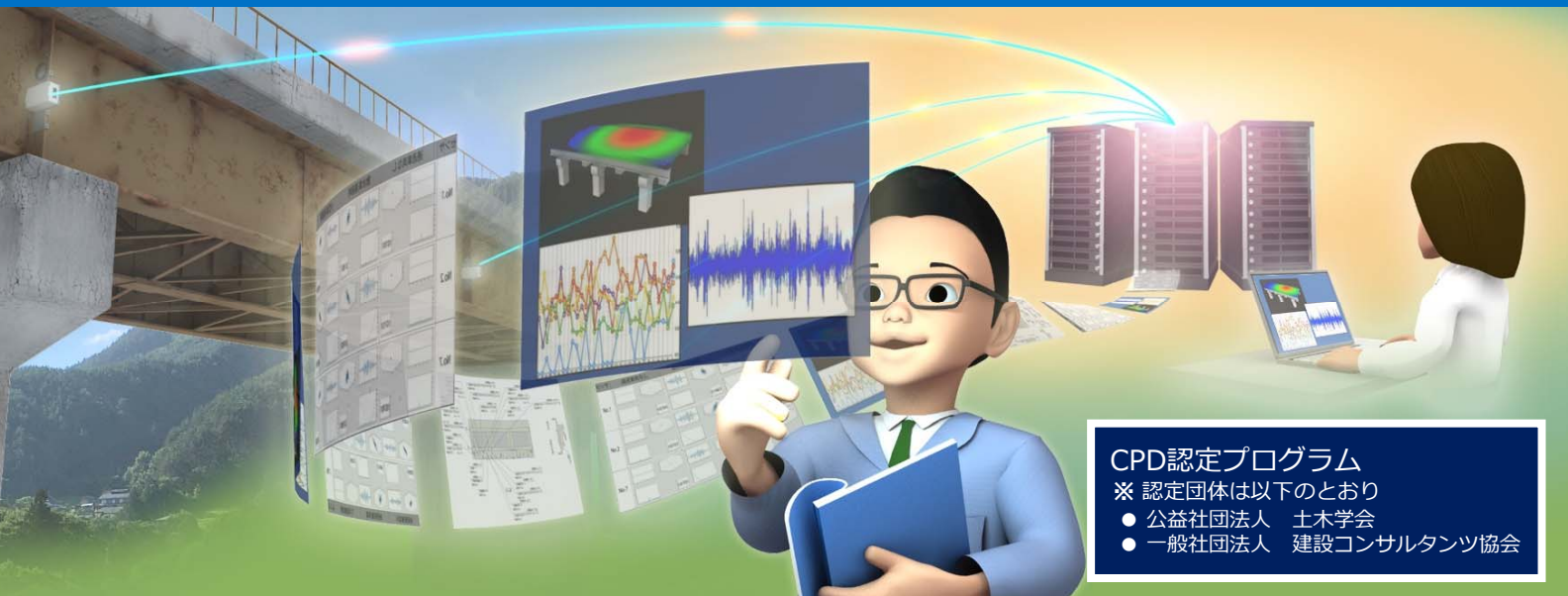
日時：2021年4月20日(火) 13:00～16:50

オンライン方式で配信（参加費：無料） *** 事前申込みが必要です ***

主催：モニタリングシステム技術研究組合

後援：インフラメンテナンス国民会議、公益社団法人 土木学会

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社



CPD認定プログラム

※ 認定団体は以下のとおり

- 公益社団法人 土木学会
- 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

時間	題目	講演者
13:00～13:50	開会挨拶・基調講演 モニタリングシステム技術研究組合の活動成果と今後の展望	RAIMS 理事長 (早稲田大学 名誉教授) 依田 照彦
13:50～14:35	基調講演 顧客ニーズに応えた維持管理に向けて	金沢工業大学 教授 宮里 心一
14:35～15:05	土木学会におけるモニタリング指針(案)の策定活動	東日本高速道路(株) 本間 淳史
15:05～15:15	(休憩：10分間)	
15:15～15:55	自治体橋梁の維持管理にモニタリング技術を導入するためには ～WG活動を通じて課題と解決策を考える～	日本工営(株) 中津井 邦喜
15:55～16:40	ガイドラインの要点解説 - 斜張橋の斜材システムのモニタリング - 塩害環境下のコンクリート構造物のモニタリング - モニタリングデータの伝送 - データの保存・活用	沖電気工業(株) 橋爪 洋 日本工営(株) 高地 透 沖電気工業(株) 野崎 正典 富士通(株) 菊地 英幸
16:40～16:50	国土交通省 点検支援技術性能カタログへの取組み事例紹介 ～桁端異常検知モニタリングについて～	日本工営(株) 松山 公年

※プログラムの内容は変更になる場合があります。

■ RAIMSの概要

モニタリングシステム技術研究組合(RAIMS)では、2014年10月設立以来各分野の専門家の総力を結集し、「土木構造物のためのモニタリングシステム活用ガイドライン」を作成しました。
このガイドラインでは、国・自治体・高速道路会社等のインフラ構造物管理者の皆様が日常の維持管理サイクルにおいて維持管理の効率化・最適化とライフサイクルコストの縮減を可能にする方法を提示するとともに、持続可能なインフラ管理の指針を提供しています。

■ 組合員 (順不同 <2021年4月1日現在>)

(国研)土木研究所、(株)高速道路総合技術研究所、沖電気工業(株)、オムロンソーシアルソリューションズ(株)、鹿島建設(株)、(株)共和電業、長野計器(株)、日本電気(株)、日本工営(株)、能美防災(株)、(株)日立製作所、(株)福山コンサルタント、富士通(株)、前田建設工業(株)、三井住友建設(株)

■ お問い合わせ先

モニタリングシステム技術研究組合 (RAIMS)
電話：03-5577-5400 e-mail：eventmaster@raims.or.jp

■ 参加お申込み先

以下URLもしくはQRコードからお申込みください。
<https://raims.or.jp/event/>

